



特集

大雪の教訓 どう活かすか!!

今年の2月14日（金）から15日（土）にかけて降った雪は、100センチを超える記録的な大雪となり、交通網は遮断され、県内全体が「陸の孤島」と化し、市民生活に甚大な影響をもたらしました。

私たちは、この雪害の記録を後世に伝えるとともに、今回の教訓を今後の防災対策に活かしていかなければなりません。

まもなく冬到来！あらためて2月の大雪を振り返るとともに、有事に備えて何をすべきかを考えてみましょう！

（2月15日 富士見町地区の方々による道路の除雪の様子）

多大な被害をもたらした 記録的な大雪の概要

■気象概要

2月13日(木) 21時に南西諸島で発生した低気圧は、本州の南海上を北東に進み、次第に発達しながら15日(土)明け方から昼頃にかけて関東地方沿岸に接近した後、関東の東を北東に進みました。また、関東地方の上空約1500m付近にはマイナス6℃以下の寒気に襲われていました。

この低気圧と上空の寒気の影響により、山梨県は14日(金)未明から15日(土)昼頃にかけて雪が降り、大雪となりました。



水神町付近の様子 2月14日

県内の月最深積雪は甲府で114cm、河口湖で143cmとなり、いずれも統計開始以来の極値を更新する記録的な大雪となりました。

(甲府地方気象台発表資料より)

■市内の被害状況

市内では、家屋の半壊及び一部損壊やカーポートなどの損壊、この他にも農業用のピニールハウス等の倒壊などの被害が多数発生しました。

また、市内の主要幹線道路も積雪により、立ち往生した車で埋め尽くされ、交通網が麻痺し物流がストップしたほか、水道が断水するなど、私たちの生活に大きな被害をもたらしました。

地域と行政の連携で 災害時に活きる地域力

作業工程と各地区への補助を見直しました

今回の雪害は、中央自動車道や国道20号線などの主要幹線道路の通行止めが生活や暮らに大きな影響を与えた災害だったことから、この経験

を教訓に、今年度、市では市道除雪作業の大幅な見直しを行なったところです。

見直しの内容は、降雪時の市道の除雪延長を、昨年度に比べ、20.7km増やし、120.7kmの除雪を実施するとともに、より効率的な除雪作業を行なうため、除雪業者の担当路線についても、地



大雪被害に対して お見舞いをいただきました

本年2月の雪害に際し、荳崎市消防団に長崎県島原市消防団様から災害のお見舞い金と励ましのお言葉をいただきました。

今後の消防団活動の充実及び強化に充てさせていただきます。

※平成3年に発生した雲仙普賢岳の噴火災害において市消防団では、お見舞いを贈った経過があります。

■問い合わせ 総務課防災交通担当 (内線 339・399)

域性、機械の保有状況を考慮し、改善しました。

※除雪路線及び担当業者についてはホームページ参照

また、積雪深30cm以上となった場合の地区実施の除雪に対する補助金についても見直しを行い、機械による除雪を行った地区に対する1km当たりの補助金を2万円に引き上げたほか、人力で除雪を行った地区についても、地区均等割の2万円を支給することになりました。



老人福祉センターでの帰宅困難者への受け入れ
(2月16日)

広めよう共助の輪

百年に一度と言われるほどの大雪を経験した荊崎市。

みなさんも、この記録的な大雪がこれほどまでに大きな影響を及ぼすとは想像していなかったと思います。まさに「想定外」という言葉が当てはまる状況でした。

しかし、この想定外の災害のなかで、地域住民がお互いに協力をして除雪を行い、立ち往生した車やトラックを救助し、帰宅困難者を受け入れる等の行動を起こしました。

これは、お互いに支えあう「共助」の精神が働いた結果

と言えるでしょう。

今回の災害ほど、近所同士のつながり、いわば地域力を感じたことは無かったのではないだろうか。日頃から地域のつながりを大切にし、共助の力を高めておくことが求められます。

また、荊崎市という限られたエリアの中で迅速に復旧を行うため、自助・共助・公助の役割を再確認する必要もあります。

このようなことを踏まえ、私たちは、自助・共助・公助のそれぞれの力を高め、連携し災害を乗り越えていかなければなりません。

早く安全に除雪を行なうために 除雪作業現場からのご願い

市では、降雪時の安全で円滑な道路交通を確保するため、迅速かつ適切な除雪作業を実施しておりますが、除雪の要望の全てを行政で行うことはできません。どうしても地域ぐるみの参加と協力が必要となります。

除雪作業を円滑に実施するため、特に次のような点について皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●スムーズに作業を行うため、路上駐車はやめましょう

路上駐車は除雪作業の妨げになり、作業が後回しになったり、作業ができないといったほか、交通渋滞の原因にもなります。また、除雪作業車の無理な追い越しは大変危険です。のでやめましょう。なお、除雪作業中は大変危険です。でお子さんを近づけないようお願いします。

●雪の処分は所有敷地内をお願いいたします。

車道や歩道に捨てられた雪は、交通事故や渋滞の原因に

もなります。また、水路に捨てられた雪は水があふれる原因となりますので、各戸の雪の処分は所有する敷地内をお願いいたします。

●自宅前の道路は各自で除雪しましょう

除雪作業車は、短時間で効率的に回らなければならないため、各戸の出入り口や希望する時間に除雪を行うことができません。

除雪作業車通過後の出入口は、各自で除雪をお願いいたします。



●歩道や私道、私有地などの除雪は各自でお願いします

市内全域の除雪には限界があります。市で除雪計画された道路以外の歩道、私道、私有地等は除雪対象外です。

で、申し訳ありませんが、地域の皆さんの協力による除雪をお願いいたします。

●私有地の樹木などの手入れをお願いします

私有地の樹木が雪の重みで倒れ、車両事故や道路構造物の破損が起きた場合は、所有者の責任が問われることがあります。庭木や樹木、特に竹林の手入れをお願いします。なお、電線に近い場所での伐採は、東京電力やNTTに事前に相談してから行うようお願いいたします。

●タイヤチェーンなどを携帯しましょう

冬の道路は凍結しスリップしやすくなります。路面の凍結時にも安全に通行できるよう、あらかじめ冬用タイヤの装着や、タイヤチェーンなどを携帯するよう万全な装備を心がけてください。

■問い合わせ

- 市道関係
建設課道水路維持担当
- 県道関係
県中北建設事務所
- 峡北支所道路課

☎23-13065

大雪・台風・地震等の災害に備え

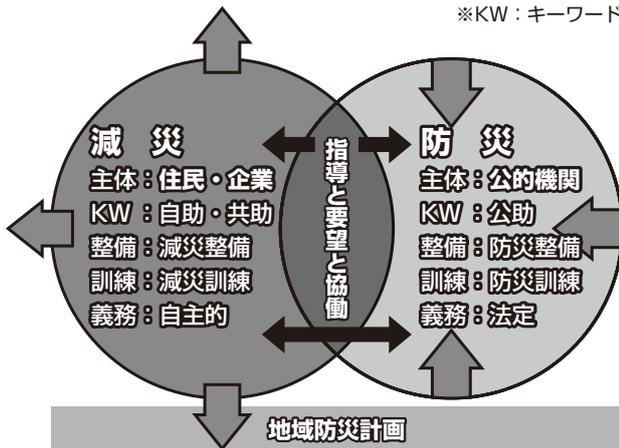
高めよう自助力!!

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災や、今年 2 月の大雪被害は、私たちに多くの尊い教訓を残しました。

この貴重な体験を活かして大雪、台風、地震といった予期せぬ自然災害から自分の財産や生命を守るために「今すぐできること」をしましょう！

減災とは…

※KW：キーワード



「減災」とは、行政が主体となる「防災」とは異なり、災害からの被害をできるだけ小さくするための地域住民の日頃からの活動のことです。

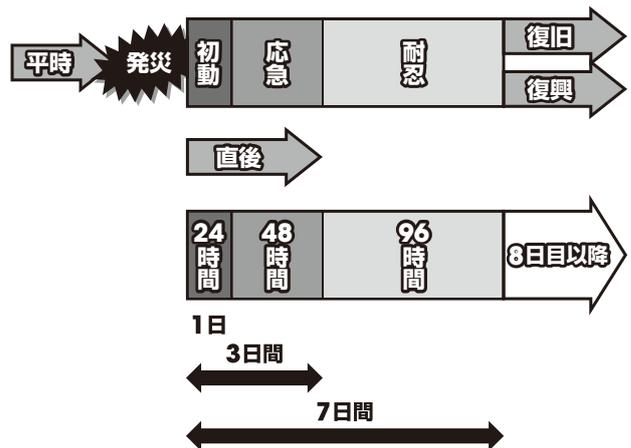
自主防災活動に積極的に参加しましょう！

自主防災組織とは、地域ごとに組織され、災害時お互いを助け合う共助の力を持つ存在として、その活躍が期待されています。

市内では地区ごとに自主防災組織が組織されており、防災訓練、出前塾による勉強会など様々な活動を行なっています。

お住まいの地区の自主防災活動に積極的に参加し、共助の力を高めましょう！

3日間自力で生活する力をつけましょう！



災害発生後、外部からの支援の手が届くまでには、最低でも3日間はかかると言われてしています。家庭でも備蓄を行い、3日間は自力で生活できるように備えましょう。

家庭で常備したい緊急時物資

飲料水・ラップ・ラジオ・現金・タオル・下着・雨具・軍手・防寒具・ばんそうこう・ビニール袋・電池・粉ミルク・カイロ・生理用品・懐中電灯・はさみ・カッター・ロウソク・トイレトペーパー・貴重品・名簿（連絡先）・常備薬・ウェットティッシュ・空のペットボトルなど

注目情報

ツイッター&フェイスブックで災害情報をお届けします！

市では、災害情報を広く市民の皆さんにお知らせするため、ツイッターとフェイスブックによる情報配信を行ないますので、災害時の備えの一つとして積極的にご利用ください！

なお、速やかな情報発信を優先するため、当アカウントは情報発信専用とし、原則として皆さんからのコメントに対する返信等への対応は行いませんので、ご了承ください。

また、災害時以外には蕪崎市の魅力を伝える情報も発信していますので、ぜひご覧ください。

公式ツイッター

<https://twitter.com/nirasakicity>

公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/nirasaki.city>

■問い合わせ 企画財政課企画推進担当（内線 356）